

【～～体温入力ができるチャットボットを作ろう～～】

伴瀬智哉 山口竜生

研究概要



【研究経過】

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
LINE版作成	LINE版チャットボットの基礎作成	中間発表LINE版ID取得	LINE版UI調整	Web版作成	発表資料作成	

Web版チャットボット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> 入力デバイスを選ばない 緊急時に使うことができる 簡単な質問形式で答えるだけで済ませることができる 非常に軽量となっている 	<ul style="list-style-type: none"> 実装タイプなので入力デバイスの選定が必要 チャットボットタイプなので経路がわかる 忙しい人には向かない Webアプリなので通信が遅いときは仕方ない

スマートフォン
忘れた

通信制限
[LINE] Data usage



スマホ×通信制限
すべて失った

【研究結果】

【提出物】

作製したもの② LINE版



全校生徒が使える
ソフトウェア

チャットボット



作製したもの① Web版



プログラムの説明 (LINE版)

- \$setup クラス番号を入力することで、ユーザーIDを取得、変数に記録しユーザーを識別している。
- 記録されたIDは誰の回答かを記録する際に使用する。
- 管理者側からメッセージを送ることができる。

プログラムの説明 (Web版)

- 応答メッセージを配列に保存しておきメッセージがどれくらい進んでいるのかを制御している。
- 保存の制御は最後の入力が完了したら送信している。
- 複数入力がある文字かつ全角半角、大文字小文字が存在する場合は自動で半角大文字に変換している。

使用機器 & ソフトウェア

使用機器 & ソフトウェア

使用機器

- ◆ パソコン
- ◆ スマートフォン (Android & IOS)

ソフトウェア

- Chrome
- Google Workspace
- Google Forms
- Google Spreadsheet
- Google Apps Script
- Line
- VS Code
- 拡張機能

【研究経過】

【提出物】

Line版チャットボット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> 簡単に設定することが出来る 入力デバイスを選ばない 緊急時にいつでも使える 簡単な質問形式で答えるだけで済ませることができる 非常に軽量となっている 	<ul style="list-style-type: none"> 管理者はLINEで機能を完結出来ない

